

若者のアイディアでまちを元気に！

地域おこし 協力隊



民家を借りて、週一回の書店を 「六畳書房」オープン

「書店が無くなってしまった浦河に、新刊書店を復活させるため…」という目標を持って、地域おこし協力隊の武藤拓也くんが今年取り組んでいるのが、新たな方法での書店づくり。

堺町西4丁目の民家を借りて、自由な発想で使える貸しスペース「かせて」として活用を始めましたが、その一室で週一回の書店「六畳書房」を開店しました。

この書店は、町内外の支援者の皆さんから寄せられた支援金で本を購入。売上げで新たな本を購入していくもので、支援者は、書店に並ぶ本を選ぶことができる「一口店長」となる特典もあります。



子どもたちが手に取って、気に入った絵本を購入できるのも、書店の良い点。

武藤くんは「みんなで作っていく書店。多くの支援があつて開店することができた。たくさんの人に本を手にとって選ぶ楽しさを味わってほしい。」と、インターネットや通販では味わえない、本選びの楽しさをアピールしていました。

毎週火曜日開店
営業時間 午後1時～午後10時

六畳書房

セイトーマーケット
みはら浦河店

浦河第一中学校

桜井測量

酒井歯科医院

堺町東

セブイレブ
浦河堺町店

堺町西

堺町交番

←至静内 国道235号 至様似→

好評の「冬のうらかわ旅」 今年も浦河の魅力満載

中川貢くんのツアー企画で、前回も好評だった「冬のうらかわ旅」。今年度も、乗馬体験のほか星空鑑賞や野鳥観察、魚さばき体験、そして今回新たにミニ大漁旗染物体験も加わり、浦河の魅力満載の内容になっています。

関東と関西に在住している移住希望者等にツアーの案内を送付し、浦河の冬を体験してもらうことも目的のひとつで、観光客や体験移住者が少ない時期に、新たな浦河の観光のヒントとなることも期待されています。



雪が少ない浦河だから、雪原の乗馬も手軽に楽しめます。

平成27年1月17日～20日に実施予定

冬の風物詩となっている
オオワシ・オジロワシ

古着などをリメイク

盛況のハニーミカ作品展

協力隊の加藤エミさんが中心となつてコーディネートした「ハニーミカ作品展」。札幌在住で、古着などをスカートやバッグなどに再生して、作品としてよみがえらせているハニーミカさんが来町。作品約200点を「かせて」で展示しました。

女性を中心に多くの来場者があり、それぞれ作品を手にとってじっくり見っていました。

なかには、「趣味の手芸の参考になる」と色使いなどに見入る人も多く、11月6日だけの展示予定でしたが、翌日まで延長して展示を行いました。



古着の着物などをスカートやバッグに再生した作品に、興味津々の来場者